修学旅行における新型コロナウイルス感染症防止対策方針

令和２年６月２２日
高知市立十津小学校

1　方針策定の目的

① 小学校時期の素晴らしい思い出を作り、友達同士の友情を深める体験学習を実施するために、新型コロナウイルス感染防止を理解して旅行に臨むことを目的とする。

② 新型コロナウイルス感染症の主な感染経路である接触感染と飛沫感染に対する予防措置を可能な限り講じ、児童が安心安全に修学旅行を行うことを目的とする。

2　実施の可否及び決定

① 実施は６年生児童の９０％以上が参加すること。（高知市立学校管理運営規則第６条（１））

② 実施の決定は旅行開始の前日から起算してさかのぼった２１日目に当たる日までに行う。（以降キャンセル料金発生）

3　旅行の実施場所

① 政府の専門家会議が示した感染観察地域に限定し、特定警戒地域や感染拡大注意地域では実施しない。

② 保護者のお迎えを想定し、学校から自動車等で原則２時間圏内の施設で行う。

③ 見学場所は各業種の感染症対策に関するガイドラインに沿って対策を講じている施設とする。

④ １日の見学先を絞り、ゆとりのある行程にする。

4　具体的行程及び引率

① 日　程　令和２年９月１６日（水）～１８日（金）

② 旅行先

- １日目　四国中央水族館　金毘羅宮（昼食）　愛媛県総合科学博物館
- ２日目　母恵夢スイーツパーク　坊ちゃん劇場　マイントピア別子
- ３日目　レオマワールド

③ 宿泊先　１日目：西条休暇村瀬戸内東予　２日目：五色台休暇村五色台

④ 引率者：校長、担任３名、養護教諭、添乗員２名（写真撮影スタッフ同行）

5　具体的な感染防止対策

① 移動に関して

- 貸し切りバス移動を原則とする。
- 移動中の大声での会話やマイクの使用（回覧）、カラオケ等での歌唱は控える。
- バスの座席配置は約１ｍの間隔を空けて座る。（１列５人掛けを３人で使用）

窓側　○	通路側空ける	補助席○	通路側空ける	○　窓側

- １列３人×１１列で１台に３３人乗車する。（児童２８人＋教員等４人）
- 座席は補助席使用者に負担がかかりすぎないようにローテーションする。
- 30~60 分おきに休憩時間を取り、換気及び消毒を行う。（バス換気時間約５分）
- バスガイドさんにはフェイスシールド着用を依頼する。
- 目的地到着前に車内で留意事項を説明し、到着後の説明時間を最小限にする。

② 食事について

- 食事の前後には手洗いの徹底を行う。（手指消毒も実施）

・ 個々に配膳された食事形式を原則とし、会話はできるだけ控える。
・ 食事の座席は、十分な間隔が取れるよう食事場所に工夫を依頼する。
・ アレルギー対応についても十分な配慮をする。
・ 比較的短時間で食事ができるようなセットメニュー提供を依頼する。

③ 見学施設について

・ 見学先の集合場所は、極力屋外の広い場所を確保し、短時間で行う。
・ 水族館等の屋内施設では、最大３人グループで活動し密集・密接を避ける。
・ 坊ちゃん劇場では、ソーシャルディスタンスを保った座席配置で鑑賞する。
・ レオマワールド等屋外施設では、会話の仕方や順番待ち等の間隔に配慮する。

④ 宿泊施設

・ 食事は②の食事についてに準じる。
・ 部屋割りは一部屋３人までとし、３密を極力減らす。
・ 班長会等の児童を集める会議は、回数を減らし短時間で実施する。
・ 就寝時は布団の間隔をあけ、同じ方向にまくらが向かないように依頼する。
・ 大浴場での入浴は、極力会話を控え短時間での入浴とする。（シャワー中心）
・ 売店利用は時間制限し、小グループごとの買い物とする。

⑤ その他の対策

・ 旅行参加は、必ず保護者の了解を取る。参加者及びその保護者は必ず本方針に従う。
・ 旅行期間中は、各活動場所終了時に、状況をホームページで発信する。（個人情報に配慮）
・ 宿泊施設到着後及び翌日の宿泊施設出発前に、児童の様子を緊急連絡メールで知らせる。
・ ２学期始業式から修学旅行実施までの期間は、不要不急の外出を避け健康管理に努める。
・ 実施までに、病気の予防や人権尊重の学習を行う。
・ 旅行期間中は、入浴や食事、就寝時間以外は常にマスクを着用する。
・ 定期的にマスクを外す時間を設け、熱中症対策も図る。
・ １日３回以上の体温チェックを行う。
・ 活動の前後には、必ず手洗いあるいは手指消毒を行う。
・ 37.5°前後の発熱が長時間続く場合は保護者に連絡し、お迎えを依頼する。
・ 発熱児童の付き添いは教職員が行い、保護者への引き渡し後に本体に合流する。
・ 旅行実施までの感染状況を注視し、本県及び実施県において緊急事態宣言または自粛要請等、感染拡大の兆候が生じた場合は旅行を延期または中止する。
・ 特に旅行終了後の４連休は、児童、教職員共に自宅待機し健康観察に努め、その後引き続いて約２週間は観察を続ける。

⑥ 準備物

・ 学校：手指消毒用のスプレー等、予備マスク、非接触型体温計
・ 家庭：通常の準備物に加え、毎日使うマスク３枚程度、ビニル袋（清潔なマスクを入れるものと使用後のマスクを入れるもの）ハンカチ３枚程度

根拠規定・出典・参考文献

・ 高知市立学校の管理運営に関する規則・施行細則　高知市教育委員会
・ 高知市立小中義務教育特別支援学校新型コロナウイルス感染症拡大状況に対応した修学旅行実施ガイドライン（第１版）　高知市立小中義務教育特別支援学校
・ 新型コロナ感染症に対応した学校再開ガイドライン　令和２年３月２４日　文部科学省
・ 新型コロナ感染症に対応した小学校、中学校、高等学校、及び特別支援学校等における教育活動の再開に関するＱ＆Ａ　令和２年５月２１日　文部科学省
・ 旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き（第１版）　一般財団法人　日本旅行業協会　協力：公益財団法人　日本修学旅行協会　公益財団法人　全国修学旅行研究協会　２０２０年６月３日